

ポーランド経済・金融概況
Main Economic & Financial Indicators (Poland)

経済調査室
Economic Research Office

(照会先: ダーベル暁子 akiko.darvell@uk.mufg.jp)

概況	消費/消費者心理
<p>ポーランド経済は底堅い回復基調を辿っている。最大の輸出先であるドイツ向けを中心に輸出の伸びが加速したほか、個人消費にも持ち直しの動きが見られる。第 3 四半期の実質 GDP 成長率は前期比+0.6%と、前期の同+0.5%から加速した。家計については、賃金の伸びは低水準ながら、公共料金の引き下げやガソリン価格の下落によって、実質的な購買力が底上げされている。また、金利低下を受けて、緩やかながらも銀行貸出の伸びが加速していることも、一定の押し上げ要因になっているとみられる。もっとも、失業率が高止まりするなか、昨年末にかけて消費者信頼感の改善に頭打ち感が始まるなど、個人消費の一段の加速は望みにくい状況にある。</p> <p>企業部門については、主要輸出先であるドイツや英国からの需要の持ち直し等を受けて、製造業の購買担当者指数 (PMI) が足元 6 ヶ月連続で拡大傾向を示しているほか、個人消費の持ち直しを背景に小売業の景況感も改善している。ただし、非金融企業向け貸出は低迷が続いており、銀行の企業向け貸出態度調査では、特に中小企業向けについては貸出基準が今後さらに厳格化されるとの傾向が示されており、企業の資金繰り難はしばらく続くと考えられる。企業の設備投資が本格的に持ち直し始め、景気回復の裾野が拡がりをみせるまでには、今しばらく時間を要する公算が大きい。</p>	<p>11 月の実質小売売上は前年比+4.2%となり、前月の同+3.7%から若干加速した。消費者信頼感指数は 2012 年末以降、改善基調を辿ってきたが、昨年末にかけて上昇一服の動きがみられ始めている。金融危機前には前年比 30~40%と高い伸びを示していた家計向けの銀行貸出は、2009 年以降急速に鈍化した。中銀による利下げを受けて、2012 年末をボトムに底打ちしている。ただし、足元でも同+4.3%と緩やかな加速に止まる。失業率 (末季調値) も、12 月時点で 13.4%と前年同月と同水準で高止まりしている。平均労働時間は、減少傾向によりやく歯止めが掛かった程度であり、雇用環境の本格回復は当面期待しにくい。</p>
GDP	物価/金融政策
<p>第 3 四半期の実質 GDP 成長率は前期比+0.6%となった。個人消費は同+0.3%となり、緩やかながらも 4 四半期連続でプラスの伸びを示した。純輸出の寄与はマイナスとなったが、これは輸入が前期の大幅減の反動や消費の持ち直しから、同+3.2%と高い伸びを示したためである。輸出も同+2.5%と前期の同+1.0%から加速した。総固定資本形成は、2012 年第 2 四半期までのサッカー欧州選手権開催に向けたインフラ投資増からの反動減が一巡し、僅かながらプラスの伸び (同+0.6%) に転じているが、企業投資の冷え込みは続いており、基調は依然弱い。</p>	<p>12 月の消費者物価上昇率は、前月の前年比+0.6%から僅かながらに上向き、同+0.7%となった。ポーランド中央銀行の目標レンジ (1.5~3.5%) の下限を下回るのは 11 ヶ月連続。エネルギー価格の下落などが大きく影響しているが、エネルギーと食品を除いたコア指数も同+1.0%と低水準にある。需給バランスの緩和を背景に、インフレ圧力は基調としても弱まっていると判断される。また、昨年夏場以降、通貨ズロチが上昇に転じ、12 月末には約 2 年ぶりの高値となっており、輸入物価の下落もインフレ圧力の抑制要因となろう。</p> <p>こうしたなか、中銀は 1 月 8 日の金融政策委員会において、政策金利を 2.5%に据え置いた。据え置きは 6 ヶ月連続。中銀は、緩やかな景気回復とインフレ圧力の抑制が続くと判断から、少なくとも 2014 年前半中は金利を据え置くと意向を改めて示した。</p>
<p>(前期比%) 実質 GDP 成長率と需要項目別寄与度</p>  <p>(資料) Macrobond より三菱東京UFJ銀行経済調査</p>	<p>消費者物価指数、政策金利</p>  <p>(資料) Macrobond より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
生産	国際収支
<p>12 月の鉱工業生産は、前年比+6.6%と、約 2 年ぶりの高い伸びとなった。内訳を見ると、製造業の伸びは前月の同+3.3%から同+8.3%に加速した。品目別では、主要輸出品である自動車 (同+15.9%) が引き続き好調である一方、電子機器 (同▲3.7%) では前年水準を下回る状況が続いている。12 月の製造業購買担当者指数 (PMI) は 53.2 と前月の 54.4 から若干低下したが、引き続き拡大・縮小の分岐点である 50 を上回った。内訳を見ると、新規受注、生産ともに増加ペースが鈍化した。ただし、拡大基調は続いているほか、雇用や仕入れも増加傾向にあることを鑑みると、製造業は今後も底堅く推移すると考えられる。一方、11 月の建設業生産は前年比▲3.2%と、低迷が続いている。景況感指数をみると、5 月以降上向いているものの、その水準は依然低く、建設業は当面低調な推移が予想される。</p>	<p>第 3 四半期の経常赤字は、前年同期の 45.1 億ドルから、27.5 億ドルに減少した。財貿易収支が前年の▲5.2 億ドルの赤字から、13.5 億ドルの黒字に転じたことが主因である。貿易収支の内訳を見ると、輸出が外需の持ち直しで前年比+11.4%と大幅に伸びた一方、輸入は同+7.1%となった。サービス収支と移転収支における赤字 (それぞれ 13.8 億ドル、6.7 億ドル) と、所得収支における赤字 (61.6 億ドル) については、前年からほぼ横ばいとなった。</p>  <p>(資料) Macrobond より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>

ポーランド経済・金融概況

1. 年、四半期

	2011	2012	2013	12/Q4	13/Q1	13/Q2	13/Q3	13/Q4
名目GDP実額 (10億米ドル)	515.3	489.9	-	139.5	120.1	123.1	126.1	-
実質GDP成長率 (y/y, %)	4.9	0.7	-	0.7	0.5	0.8	1.9	-
(民間消費支出) (y/y, %)	1.4	0.3	-	0.3	0.0	0.2	1.0	-
(総固定資本形成) (y/y, %)	10.0	▲ 4.7	-	▲ 4.7	▲ 2.1	▲ 3.2	0.6	-
鉱工業生産 (y/y, %)	7.2	1.4	2.3	▲ 2.3	▲ 1.6	1.3	4.9	4.6
小売売上(実質) (y/y, %)	6.8	3.1	-	▲ 0.8	0.4	1.3	4.0	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	13.4	1.5	-	1.5	3.5	3.5	4.0	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	4.3	3.7	0.9	2.9	1.3	0.5	1.1	0.7
名目賃金上昇率 (y/y, %)	4.9	3.5	2.6	2.6	2.0	2.2	3.0	3.0
失業率 (%)	12.4	12.8	13.5	12.9	14.3	13.6	13.0	13.2
貿易収支 (百万米ドル)	▲ 21,796	▲ 13,730	-	▲ 3,407	▲ 1,628	356	14	-
輸出額 (百万米ドル)	188,424	185,307	-	48,465	48,497	49,114	50,970	-
輸出伸び率 (y/y, %)	18.2	▲ 1.7	-	5.6	5.1	8.9	11.6	-
輸入額 (百万米ドル)	210,220	199,037	-	51,872	50,125	48,758	50,956	-
輸入伸び率 (y/y, %)	18.3	▲ 5.3	-	1.5	▲ 1.1	▲ 0.6	7.1	-
経常収支 (百万米ドル)	▲ 25,822	▲ 18,136	-	▲ 4,378	▲ 3,072	647	▲ 2,752	-
資本収支 (百万米ドル)	41,763	33,220	-	7,884	7,631	2,598	3,392	-
対内直接投資 (百万米ドル)	20,494	5,997	-	3,691	245	▲ 3,874	2,380	-
外貨準備高 (百万米ドル)	92,647	103,396	-	103,396	103,568	102,922	102,442	-
対外債務残高 (百万米ドル)	323,289	365,745	-	365,745	357,684	357,697	-	-
株価指数	44,558	41,613	48,323	44,856	46,725	45,626	48,054	52,796.0
短期金利 (interbank3m)	4.54	4.91	3.02	4.57	3.78	2.98	2.70	2.67
長期金利 (Gov.10y bond yields)	5.96	5.00	4.03	4.21	3.94	3.58	4.25	4.36
Zloty/USD	2.97	3.26	3.16	3.17	3.15	3.22	3.21	3.07
Zloty/Euro	4.12	4.18	4.20	4.11	4.15	4.20	4.25	4.18
Zloty/GBP	4.75	5.16	4.94	5.09	4.89	4.94	4.97	4.98

2. 月次

	13/05	6	7	8	9	10	11	12
鉱工業生産 (y/y, %)	▲ 1.8	3.0	6.3	2.2	6.2	4.4	2.9	6.6
小売売上(実質) (y/y, %)	1.2	2.6	4.3	3.5	4.1	3.7	4.2	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	1.5	3.5	3.9	3.5	4.0	3.1	4.0	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	0.5	0.2	1.1	1.1	1.0	0.8	0.6	0.7
名目賃金上昇率 (y/y, %)	2.3	1.4	3.5	2.0	3.6	3.1	3.1	2.7
失業率 (%)	13.6	13.2	13.1	13.0	13.0	13.0	13.2	13.4
貿易収支 (百万米ドル)	▲ 380	339	▲ 322	▲ 75	421	▲ 266	▲ 642	-
輸出額 (百万米ドル)	15,578	16,518	16,760	16,133	18,107	19,181	18,242	-
輸出伸び率 (y/y, %)	3.0	12.0	13.2	9.2	12.1	4.6	9.2	-
輸入額 (百万米ドル)	15,957	16,179	17,083	16,208	17,686	19,448	18,884	-
輸入伸び率 (y/y, %)	▲ 5.0	2.6	8.7	6.0	6.4	4.6	6.3	-
株価指数	45,775	46,886	45,924	49,122	49,268	52,456	54,106	51,901
短期金利 (interbank3m)	2.88	2.74	2.70	2.70	2.69	2.67	2.65	2.67
長期金利 (Gov.10y bond yields)	3.28	3.95	3.97	4.30	4.49	4.28	4.38	4.42
Zloty/USD	3.22	3.25	3.27	3.18	3.17	3.07	3.11	3.04
Zloty/Euro	4.18	4.28	4.27	4.23	4.24	4.19	4.19	4.17
Zloty/GBP	4.92	5.03	4.96	4.92	5.03	4.95	4.99	4.99

(注)貿易収支は通関ベース

(資料)ポーランド中央銀行、Macrobond、ブルームバーグ他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。